

●獣医学部6年生

後輩にも胸を張って勧められる素敵な会に参加出来たことに、感謝しています。

分野の隔てなく、建前ではない生きた意見をたくさんお聞かせいただけて、貴重な体験ができたことと感謝しています。先生方が学生の私たちに対してもまっすぐに向き合ってください、獣医師としての見識が広がっただけでなく、将来どの分野に進んだとしても頼れる先輩がいらっしゃるのだという心強さを感じることができました。自分の将来像が見えず悩んでいたときだったので、こんなに可能性が広がっているのかと思えたことはとても良い経験となりました。

●獣医学部学生

大変貴重な経験となりました。私は以前から獣医の職域が広いということは知っていましたが、具体的なモデルが身の回りにいなかったため、参加しました。一日目の各講演ではそれぞれの道で活躍なさっている方々の人生を拝聴することができ、まさに求めていた内容を知ることによって目からうろこが落ちる思いでした。懇親会と二次会では先生方と直接お話しすることができ、より深く各先生方の人生観を吸収することができました。どの道も魅力的で、進路を決めるという観点ではむしろセミナーに参加する前よりも悩んでしまうことになりましたが、活力をもって働いている先生方と接することで働くことに対する意欲が増しました。

残念だった点は二日目のディスカッションの時間が短すぎたことです。一グループずつ議論を公開する形もよいのですが、それよりもしっかりと時間をかけて議論をしたかったのが本音です。周囲の学生に今回の経験を話したところ、興味を持つ人が多かったので是非来年も開催していただきたいです。

●獣医学部6年生

獣医学分野の様々な職種の方々のお話がうかがえるとあり、私自身の将来のキャリアビジョンの参考とさせていただくとともに、各分野で成功をおさめられている方々が、成功に至るために必要とした能力は何なのだろうかということに勉強させていただくために、参加させていただきました。

学会を終えて、私は諸先生方が共通してお持ちになっている能力は行動力だと感じました。行動すると必ず人との関わり合いが発生し、そこから得た経験・知識を活かし、仕事の改善・向上へ向けまた行動へうつしてゆきます。この正のサイクルにはまることが成功への鍵であると感じました。

私自身まだまだ行動力が足りていないということも痛感しました。先生方のお話を伺い、行動力がすごいと考えているのが何よりの証拠だと思います。そのくらいは行動して当たり前だ。そのくらい思えるくらいに今後改めていかなければならないと感じました。

●獣医学部6年生

ご案内でサマースクールを知った際には、学会のシンポジウムやセミナーのように学術的な題目が扱われるものだと考えていました。そのため、多少の戸惑いはあったものの、それと同時に不思議な高揚感を感じました。実際に先生方のお話は、私の想像をはるかに超えて面白く、それでいてとても考えさせられることばかりでした。“会社に勤める獣医師”や“起業をしている獣医師”の方とは接する機会を持たなかったためか、そのお話はただただ新鮮でとても刺激的でした。また“開業獣医師”、“研究者”、“獣医大学の教員”のお話は、今までの自分の考え方を見つめ直し、よりよく在るためのいいきっかけとなりました。講演のみならず懇親会と二次会も、より近い距離感でたくさんの先生方や他大学の学生と腹を割って話すことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。またこのような場ができることを切に願います。

### ●獣医学部 1 年生

私は積極性の大切さを改めて実感しました。参加するか迷っていたのですが、参加して本当によかったです。積極性という言葉は今まで何度も聞かされてきましたし、自分ではわかっているように思っていたのですが、今回いろいろな先生方と交流し、その重要さが本当の意味でわかった気がしています。考え方や見方が変わり、これからの人生が今までとは大きく変わるものになると感じています。それほどに刺激を受けました。

### ●獣医学部 5 年生

周りが将来について考え始める中、臨床に進むべきか企業に進むべきか悩んでいた時にサマースクールの存在を知り、応募しました。私が期待していたことは、自分の進路についてなぜ悩んでいるのかをはっきりさせること、また、様々な業界の方々とお話を通じて、自分が不安に思っていることが実際どうであるのかを聞き、進路を決める一つのきっかけを作ることでした。

実際参加して先生方と話しているうちに自分の悩みもはっきりし、また、実際現場で働いている方のお話を聞くことによって自分が抱いていた不安がたいしたことではないということを知り、進路の方向がある程度定まった気がいたします。

初日のご講演では、何が不満でどう考えてどのように実際に行動したのかを具体的に話して下さったので、自分が同じ立場だった場合に立ち向かわなければならない壁や、そうなったときにどのような選択肢が存在するのかということが非常によく伝わってきました。特に増田先生のお話で、想像以上に研究者として生きて行くことが困難で狭き門であるかということを実感いたしました。懇親会では先生方のご講演の後だったので個人的に気になっていたことを聞くこともできましたし、自分が悩んでいることを口に出すことで頭の中が整理され、どういった点に不安を感じているのかも明らかになり、さらには抱えている不安をその場で解消することができました。

自分と同じような悩みを持つ学生と話す機会も持て、たくさんの先生方と知り合うこともでき、思っていたよりもたくさんのことを得られた非常に有意義な時間でした。

### ●獣医学部学生

想像していた以上に各職種における獣医師の役割を深く学ぶことができました。2日目のグループディスカッションでは、多くの人々の意見を聞いて、自分と違った考え方を知る良い機会だったと感じました。懇親会では獣医業界の話題を多くの先生方から聞いて、非常に刺激を受けた会でした。先生方が本音を話されることで、多くの知らないことを取り入れることができた良い機会であったかと思います。各業界の紹介に加え、失敗談や、そこでの学び、失敗を糧として成功へ導いた話等があれば、壁に打ち当たっている人にとっては刺激になるのではないかと思います。■